

報告書

私は2023年2月17日より1ヶ月間、モンタナ州立大学において短期英語研修に参加しました。一か月間海外での生活ホームステイということもあり、緊張でいっぱいでしたが、この貴重な経験を通して多くの学びを得ることができました。

17日に熊本を出発し、4回のフライトを経て、20日にピリングスに到着しました。まだその時点では、初めて踏み入れたアメリカに驚きだけでなく、これからの1ヶ月に対する戸惑いや不安も抱えていました。しかし、ロビーで出迎えてくださった、ホストファミリーに抱き締められ、会えて嬉しいと言って貰えた瞬間に、ここでの滞在を素晴らしいものにする覚悟を決めることが出来ました。ホストファミリーの中には、同じくMSUBに通



うホストシスターがいて、彼女が毎日のキャンパスへの送り迎えをしてくれました。そんな毎朝の車の中や、家に帰ってから、たくさん会話をして、お互いに自分の国について話し、共通点を見つけたり、あるいは極めて異なる意見や文化を持っている場合もありました。自分の英語のつたなさや、日本の語彙をうまく英語に変換できないことで、思うように会話が進められず、悔しくもどかしい思いをすることもありましたが、お互いに何度も言い換えたり、細かく別視点から説明していくことで理解し、違いを面白く感じる事ができました。そのように習慣的に異文化を実際に目で見て聞く環境にいたことで、より深い理解や知識の定着に結びつき、また、その経験ができていることをとても貴重に感じていました。

さらに、MSUBでの英語学習を通して、日本とアメリカの教育方法についても学びを得ることができました。より積極性の求められるアメリカでは、常に目を合わせ、質問に声を出して答え、小さなことでも手を上げて発言することが重要視されていました。その為、常に集中し、細かく質問するために好奇心を持って自分の学びを得る習慣を身に付けることに繋がりました。「いつも本を読むときも、車から景色を見るときもなぜ?や何?といった好奇心を忘れずにいることで、より人生が学び深いものになる。」と、仰っていたリーディングの先生の言葉が今でも心に残っています。このプログラムを現地でサポートして下さった、森さんからも「やらない後悔よりもやった後悔」を大切にしてほしいとお言葉を頂き、そのときに感じた感動は忘れず、何事にもチャレンジし続けたいと思いました。

最後に、このプログラムを通して、私は自分を支えてくれる人々の有り難みをさらに感じ、

自分で自分の可能性に制限をかけず、やってみる大切さを学びました。1ヶ月という短い間でしたが、私の学生生活だけでなく、これからの人生にも関わる大きく、貴重な経験だと感じました。